



風説蕨の抜抄

伊
2.574
*8



門 仔
彌 卷
2511

門 仔
彌 卷
2594
8

拾遺書之技析卷之三

目錄

一 金屏屏長落吟陸之事

并長洲人石捕之事

一 追書及水產之類之事

并本州所代諸大名符號之事

實白殿神之禮式結定之事



拾遺集 校行卷之三



今傳廣古屬此條之夏

七列人 石補人性名年

之云後山據也我信以修陸之元

抄年記後書及以人叙 八百人

并序格歌頭及信人叙 七百八

以詩之矣 七五屬人 山崎表之原如之九

別古の心より所在行相平古語を後白
柳生祖馬ち及清研原より

清留を唐の清引合に成る處を別記する處
事柳生祖馬ちより成極を古に六法法を排
け成る人教の之御古語人は九の五五人
古の華の葉一時の葉の成る處を古に古語
和の破布の古語

室のより成行の古語を古に古語
市中の語を古に古語

史の古の語を古に古語

古の古の語を古に古語

古の古の語を古に古語

古の古の語を古に古語

古の古の語を古に古語

古の古の語を古に古語

お成進極河奉行所へ送捕へ
入年 〆 〆 〆 〆 〆

長洲藩

村島伴右

才之文

幸田権左

才之文

高井之代然

才之文

彌子吉次郎

才之文

田中 〆 〆 〆 〆 〆

宮重指平

才之文

船田 〆 〆 〆 〆 〆

一 後次郎

才之文

市川 孫七

桂物三節 家来

良井年苑

滋川三節 家来

佐五節

山田又吉 家来

勝年

堀田卯右衛門 家来

清作

福田御後 家来

荒井佐治 在田

以孫志

親山物三節

古田

栗田文也

三平

市川孫五伴 昌

岩吉

三平

是系文平系末

忠之師

三年又

青水清如系末

吉苑

亦良又

依之末系末

三年又

以津半進

三年又

頭子吉清師下

三菴

和田親如系末

三菴

三年又

西村系菴

三年又

德系末順念苑

三年又

書者

后

三年又

左の人如達ハ、
 宗系ハ、
 法陣中ハ、
 法正神宮
 形中ハ、
 有ハ、
 御古今

神古神宮
 振子
 松平

孫 七
 吉 年
 長 年
 舟 年
 曾 年
 宗 年
 美 年
 地 年

法海内 何事も及法達一に 法成
石楠うへに 法おほく

紀伊殿へ 法おほく

巨楠の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

新見内 船中へ 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

法成の 法おほく

花の... 打年... 法陣... 法... 了

花... 打年... 法陣... 法... 了

花... 打年... 法陣... 法... 了

之極之信

左武利由信

今津川和信

完戶文信

子田信

三十五

八月朔日

近傳殿下三後書六字

謹之上書奉旨長門守抄入

勅命之身之書及為平信不事恐勅是
今多市年一降勅所之號拂之白物料
不惟向信事不存言大故江戶信是事
在所供信及事號拂隊多如成

以後千石科 高島の村 前代元徳大
 中 蔵の事 遠傳の事 上徳の事 徳小
 本別 上徳の信後 徳の事 卷後 徳
 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 是心 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 中 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 養 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 徳 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事

一 上徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 上と 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 一 間子 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 其心 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 徳解 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 定儀 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 如く 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事
 徳の事 徳の事 徳の事 徳の事

已志意の揚、百々は言ふべきに終る
其意の字に罷科、上儀、而日
以の天、最和、權中、の執、道、一、極、年、一、
王、日、萬、民、と、の、獨、也、之、動、と、任、と、を、
貴、と、を、雜、事、也、の、時、不、何、と、執、中、の、所、
信、人、の、執、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
而、之、執、執、任、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
邪、と、言、と、言、と、言、と、言、と、言、と、言、と、

今、一、時、物、あり、其、の、際、在、者、情、を、達
其、轉、一、不、能、之、の、不、能、一、道、致、知、と、
所、自、達、拂、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
彼、を、也、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
舊、と、言、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
又、子、部、靜、思、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
一、連、何、代、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
唯、と、言、と、言、と、言、と、言、と、言、と、
其、色、侯、執、從、と、言、と、言、と、言、と、言、と、

名報、馬丹人、北子先、我免
カ、見、暖、子、不、途、元、能、老
侯、初、説、と、彼、の、年、中、如、言、を、ら、時
の、節、と、人、と、其、の、方、と、一、可、執、用、と、
清、生、の、説、の、大、の、清、と、ヤ、也、民、の、如、の、如、
民、の、忠、の、如、の、若、長、所、ヲ、述、説、以、於、
古、改、の、如、の、如、元、備、恐、信、信、云

右、保、保、家、の、為、多、ク、器、續
と、作、前、の、字、ヲ、切、割、と、言、一
の、如、先、と、如、解、年、子、信、書、也、云

將軍上、於、十、年、月、十、七、日、合、議、
法、案、の、可、一

從、日、限、の、如、一、云

奉旨於幕府七例征伐
總部習

紀伊之度

副將軍越前守公孫五郎

但一屋別及山邊一其之度。
法為兼符法以之其為不

一八月廿五日京地之山邊一

法陣之書

去月未之九月廿五日京地

法法陣之書

大坂之法

一橋中符言

松栢 春山藏

山陽居士

山陽先生

松年畫苑

阿知三年願

松年內苑

松年春山藏

松年尖名

松年三河寺

松年左傳

松年松栢寺

松年井能寺

松年左近寺

松年出相寺

海老年

板倉周防守

九洲一番

下ノ安

小倉左衛門守

杉平左衛門守

下ノ安

真平左衛門守

有馬中務少輔

立花左衛門守

長州萩

細川越中守

杉平左衛門守

杉平左衛門守

小倉

杉平隠岐守

杉平徳政守

杉平如持守

存隆遠江守

山崎山崎

山崎山崎守

大久保加賀守

大久保加賀守

杉平仙左衛門

間部下徳守

少右信濃守

周井雅左衛門

方改清夏信

征作中船意

市人殺之

表年考

船家云架博

清月附

松年作夏

京極之船心

備料彈心志

其介

清方香既

清加香元

清香元

清与刀

月心

阿彌陀佛摩寺
青山峯之西
本多氏後守
森 任豆守
井仔柿水氏
杉年古傳守
杉年傳岐守

永井信清守
丹羽長門守
後田筑前守
遠山長慶守
一柳包忠守
山崎宗幸守
古木重光守

朽木近江寺
忌部蘇前寺
梅村路河寺
建部之江寺
十出何路寺
九鬼寺門寺
後田松津寺

朽年之河寺
朽年早覺寺
柳生但馬寺
安波路寺

西ノ宮

後堂松尾寺
高入教習の寺

酒井雅樂頭

尾崎

杉平古田將監
杉平修理主人

古田道順別名杉平

今度園白極下逢年古田道順
清和帝治政九年

園白大信 實方

宗樂(和)方宗系後早口宗
礼節方(和)方及夫人是也通

松家 細云 巳下

古田宗樂方(和)方及夫人是也通

殿上人下余礼篇

松家殿上人

弓々宗盛公行行建宗礼篇殿上
人下余礼篇

石郷 堂上

是夜の趣お世に礼儀おのこ殿上人
道ひは世のふ礼篇

殿上人

是夜おのこ世に礼儀おのこ殿上人
道ひは世のふ礼篇

古伝殿上人は世に

松家門跡信正

石郷殿上人宗盛公行行建宗礼篇
信正おのこ世に下余礼篇殿上人

新編の序

徳川家徳政の序
孝上の徳政の序

北条人 地下友人

下武 徳政集

下武 徳政集 徳政集 徳政集

徳一徳二徳三

府中徳政の序
高上馬場上徳政の序
高上馬場上徳政の序

文久三

文久三

徳政集

元治元

元治元

徳政集

松島
抄本
行卷
三

